TOSHIBA

東芝エアークリーンシステム 設置工事説明書

形名 ACD-C40B（本体）
ACD-25DS（脱臭ユニット）

安全上のご注意

●設置工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
●表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷※1を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害※2を負うことが想定されるか、または物的傷害※3の発生が想定されること”を示します。

※1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
※2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要しない、けが・やけど・感電などをさします。
※3：物的傷害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

■図記号の例

下に示す記号は、説明書や製品に表示して、使用者に注意を促すための記号です。
書かれている内容を注意深くお読みください。

	禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

⚠警告

設置工事説明書をよく読み正しく確実に工事する
不備があった場合、感電や火災・けがなどの原因となります。

よく読め

可燃性ガスを使用する場所には設置しない
火災の原因となりますので充分注意してください。

禁止

取付・移設は、お買いあげの販売店または取付専門業者に依頼する
取付が不完全なときは、水漏れ・火災・感電・部品落下によるけがの原因になります。

取付は依頼

⚠警告

充分な強度のある所に取り付ける
落下し、けがをする原因になります。

確実に取付

ねじはゆるまないよう、最後まで確実に固定する
不十分だと本体のガタツキや故障の原因となります。

確実に固定

交流100Vで使用する
火災・感電の原因となります。

交流100V

AC100V入力線は確実に接続する
接続が不十分だと、異常発熱の原因となります。

確実に接続

保守点検のときは、必ず風量コントローラーつまみを「切」にし、
専用ブレーカーを「OFF」にしてから行う
感電の原因になります。

ブレーカーOFF

ぬれた手で風量コントローラーつまみに触れない
感電の原因になります。

ぬれ手禁止

電気工事・アース工事は電気工事士※が行う
電気工事士以外の人が工事をすると、火災・感電・けがの原因になります。
※電気工事士への依頼はお買いあげの販売店または電気工事店にご相談ください。

電気工事士が実施

修理技術者以外の人は、分解・修理※をしない
火災・感電・けがの原因になります。
※修理はお買いあげの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。

分解・修理禁止

アース工事を必ず行う
アースは確実に取り付ける
故障や漏電したとき、火災・感電の原因になります。アースの取付は販売店や
電気工事店を通じ、電気工事士へ依頼してください。

アース工事

可燃ガスや有毒ガスなどを吸い込むところには取り付けない

禁止

製品に水をかけたりしない
ショートや感電のおそれがあります。

水かけ禁止

改造や必要以上の分解はしない
火災・感電・けがの原因となります。

改造・分解禁止

⚠注意

部品の取付けは確実に行う
部品の接触が悪く火災になるおそれがあります。

取り付け後長期間ご使用にならないときは、安全のため電源を切る
絶縁劣化による火災・感電の原因になります。

取り付けのときは、必ず手袋を使う
けがをする原因になります。

組立作業は必ず2人以上で行う
1人で行うとけがをするおそれがあります。

浴室など湿気の多い所には本体・スイッチを取り付けない
火災・感電の原因になります。

メタルラス張りなどの金属造営材と接触させない
漏電したとき、火災・感電の原因になります。

高温や炎が当たる恐れのある場所、油煙の多い場所には取り付けない
火災の原因になります。

フィルターなどの部品は確実に取り付ける
落下し、けがをする原因になります。

電源電線および接続電線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、
端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する
発熱・火災の原因になります。

専用ブレーカーを取り付ける
設置場所によっては漏電ブレーカーの取付が必要
感電の原因になります。

1 はじめに（工事される方へのお願い）

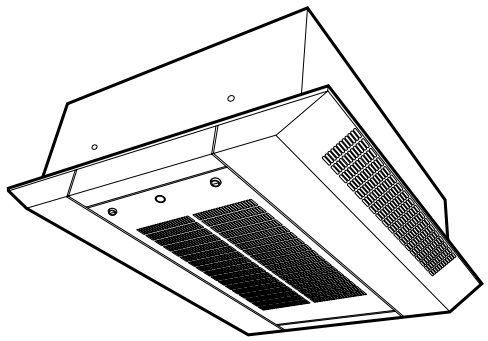
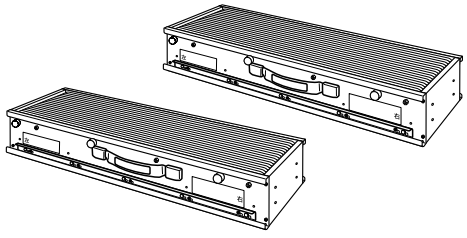
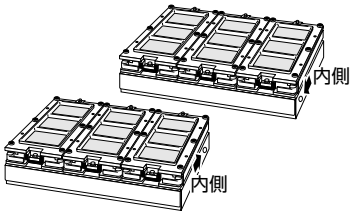
■設置工事は、必ず二人以上で行ってください。
■設置工事の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
■この設置工事説明書は取扱説明書とともに必ずお客様にお渡しください。

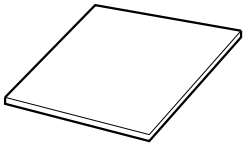
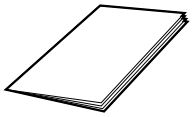
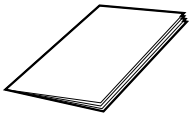
設置前の確認

■充分な強度のある所に取り付けてください。
■可燃ガスや有毒ガスなどを吸い込む所には取り付けないでください。

梱包部品の確認

■この商品は3個に分けて梱包されています。全ての梱包箱がそろっているか確認してください。
①本体　②脱臭ユニット　③集塵ユニット
■組立てをされる前に、商品の損傷がないこと、梱包部品がそろっていることを確認してください。

<table>
<tr><th colspan="2">本　　体</th><th>風量コントローラー</th></tr>
<tr><td colspan="2"> 
1個</td><td>
1個</td></tr>
<tr><th colspan="2">集塵ユニット</th><th>脱臭ユニット</th></tr>
<tr><td colspan="2"> 
2個</td><td> 

2個</td></tr>
<tr><th>開口寸法用型紙</th><th>取 扱 説 明 書</th><th>設置工事説明書（本書）</th></tr>
<tr><td> 
1枚</td><td> 
1冊</td><td> 
1冊</td></tr>
</table>

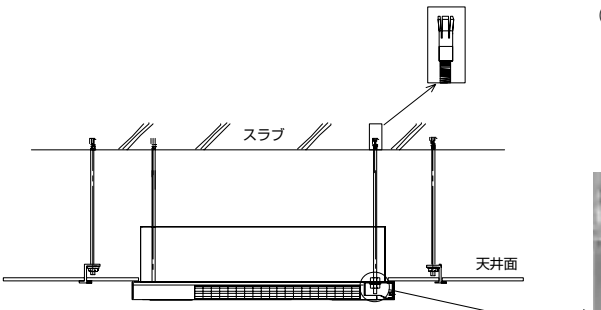
2 据付け工事

❶ 据付け工事の手順

開口位置決め → 天井開口 → アンカーボルト打ち込み → 電源取り込み → 機械吊り込み → 風量コントローラー取り付け → 工事完了

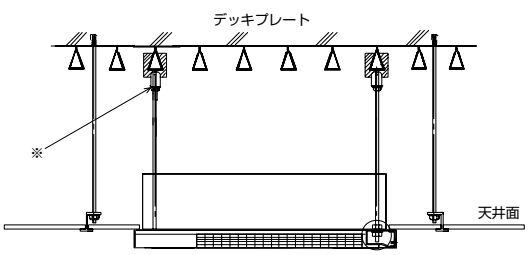
❷ 本体吊り方法

■天井への本体吊り込みの方法は主にこの3つの方法が一般的です。

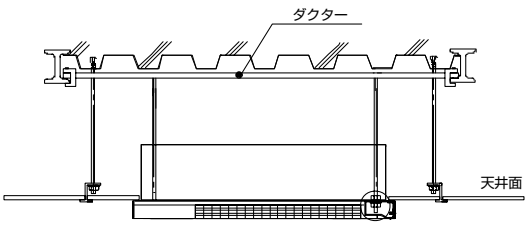


①天井スラブにアンカーボルトを打ち込み、そこにボルトを吊り、本体を設置します。

吊り下げボルト
（φ10～φ12mm）



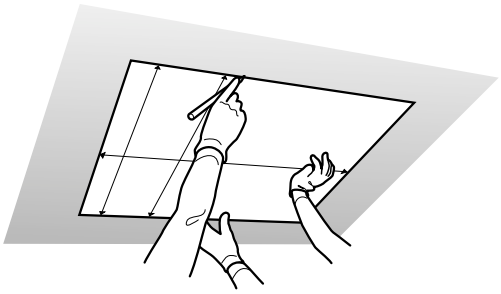
②デッキプレートにデッキプレート用吊り金具※を挟み、そこにボルトを吊ります。



③天井スラブに①や②の方法で設置が出来ない場合は、H形鋼にダクターを引っかけ、そこからボルトで吊ります。

3 施工方法

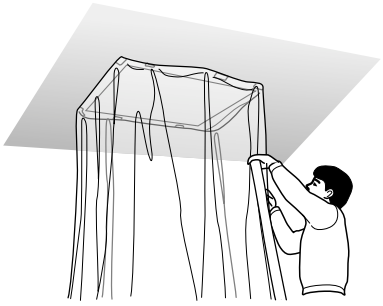
1



■開口位置決め

●型紙に沿って鉛筆で線を引きます。

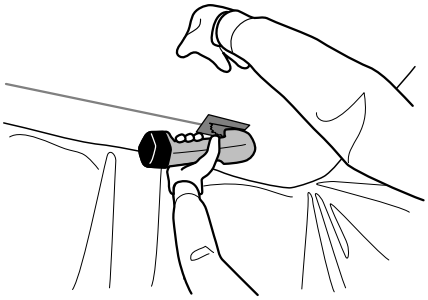
2



■養生

●埃が飛び散らないよう養生をします。

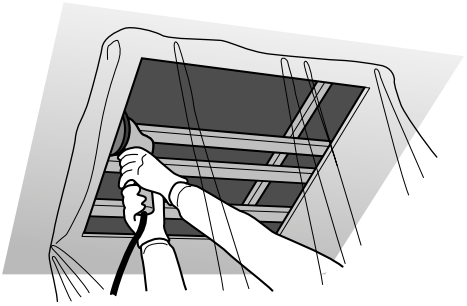
3



■天井開口

●線に沿って天井板を切ります。

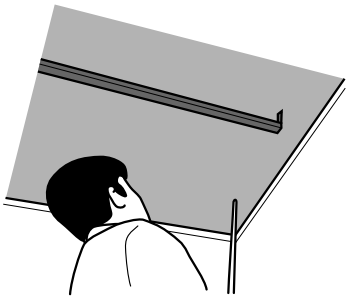
4



■軽天切断

●軽天や樽木を切断します。必要に応じて補強します。

5



■アンカーボルト打込

●ALC板等でアンカーが打てない場合は鉄骨等に渡して固定します。（P1参照）
木造の場合は吊下げ金具を打ち込み吊り元を作ります。

■本体吊り込み

⚠注意

取付は、製品の質量に十分耐えるようにしっかりと平面に取り付ける

取付が弱いと危険ですし、振動の原因となります。(図-1)
特に振動防止に注意する必要がある場合は、防振用吊金具をご使用ください。(図-2)

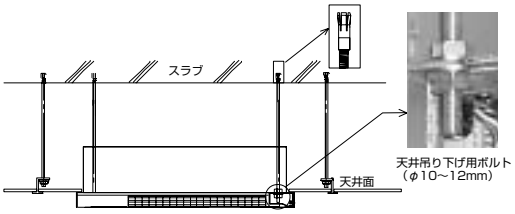


図-1

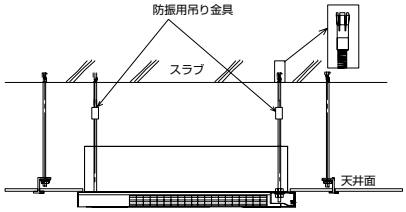
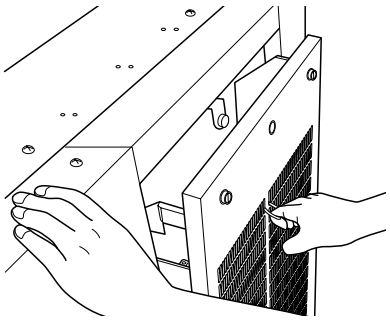


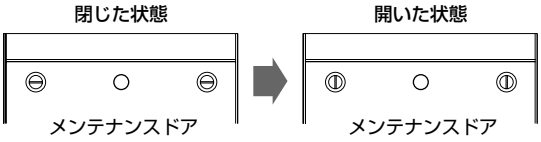
図-2

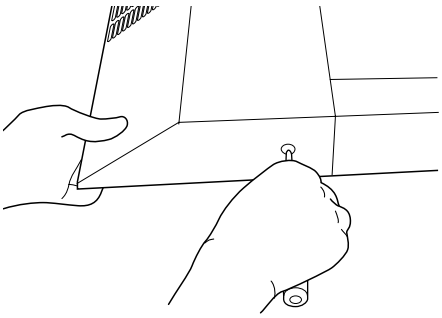
●天井スラブにアンカーボルトを打ち込み、
そこにボルトを吊り、本体を設置します。

6

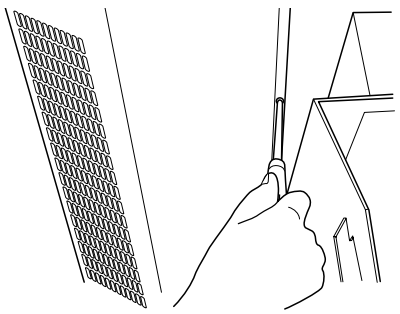


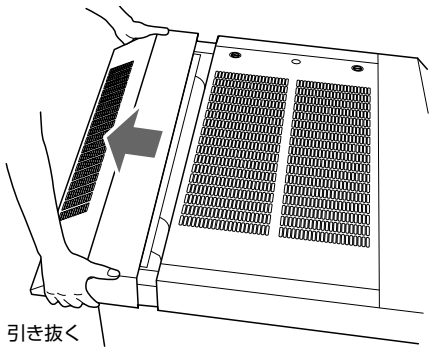
●押しボタンロックを回し2つの押しボタンロックを両手で押しながらメンテナンスドアを開けます。





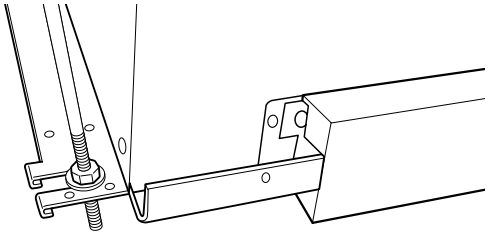
●左図のように、ねじ、(外側に4ヶ所、内側に4ヶ所)を外し、吹出口カバーを外します。
※カバーを外さないとナットが付きません。
●メンテナンスドアを閉めます。



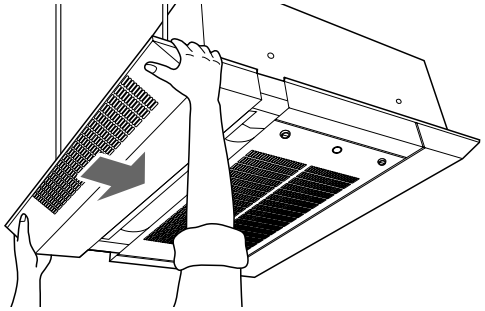


❸ 施工方法（つづき）

6

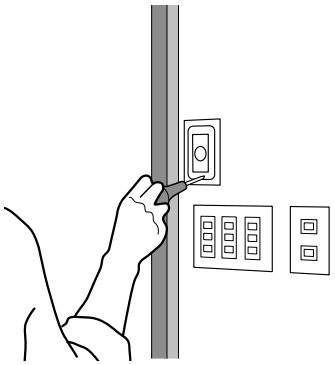


●天井スラブにアンカーボルトを打ち込み、底に天井吊り下げ用ボルトを吊ります。
●本体を取り付けます。
上下のナットで固定してください。



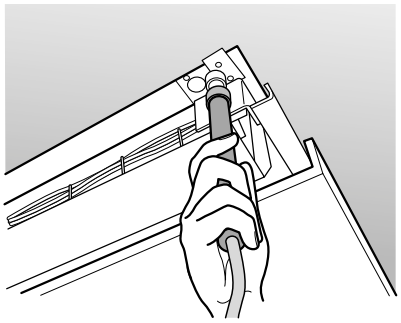
●吹出し口カバーを取り付けます。
メンテナンスドアを開け、外したねじを元に戻し、吹出し口カバーを取り付けてください。

7



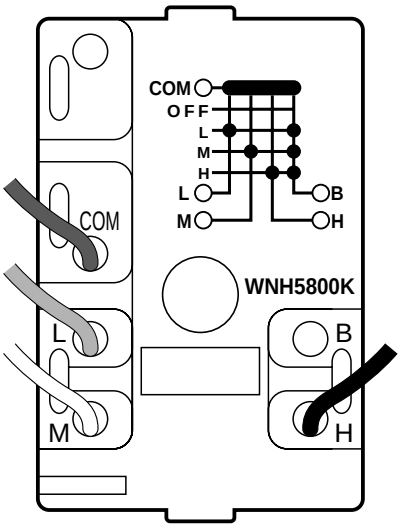
■風量コントローラー取付
●壁内の通電が容易な場合は完全埋込にします。

8



■結線、微調整（水平）
●電源と信号線を結線します。（P9参照）

4 配線（AC入力、風量切替）



風量コントローラー裏面

表示内容

（風量コントローラー裏面）

COM……赤

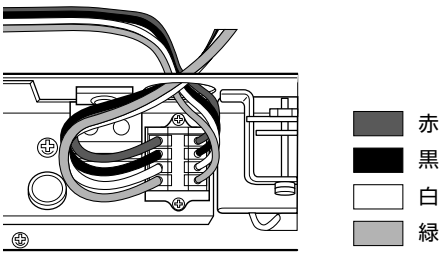
H（快速）……黒

M（強）……白

L（標準）……緑

B…接続不要（使用はしません）

※（　）の中は風量コントローラー表面の表示です。



●吹出口カバーを外すと左側に、端子盤があります。風量切替は3段階です。風量コントローラーに接続します。右側の端子台にはAC100Vを接続します。

風量コントローラー適合線（φ0.4～φ1.2単線）
AC100V入力（φ1.6～φ2.0単線）

※電源は分電盤・コンセント回路・照明回路連動等その状況に応じて選択してください。

❺ 集塵ユニットの脱着方法

■集塵ユニットは商品搬入時にはあらかじめ取り付けられていません。

⚠警告

メンテナンスドアを開けるときは、必ず開口部の正面で作業する

メンテナンスドアを下ろすときは必ず手を添えて下ろす

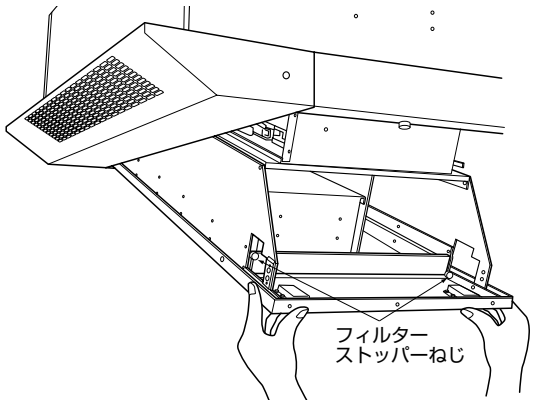
ドアが急に下降し怪我をする恐れがあります。

集塵ユニットを入れるときは2つとも、必ず黒い取っ手部分が左側に来るよう挿入する

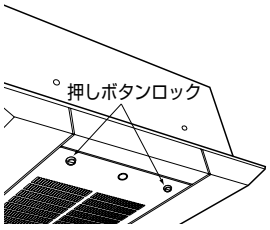
⚠注意

メンテナンスドアが開いていると製品安全上電源が入りません。

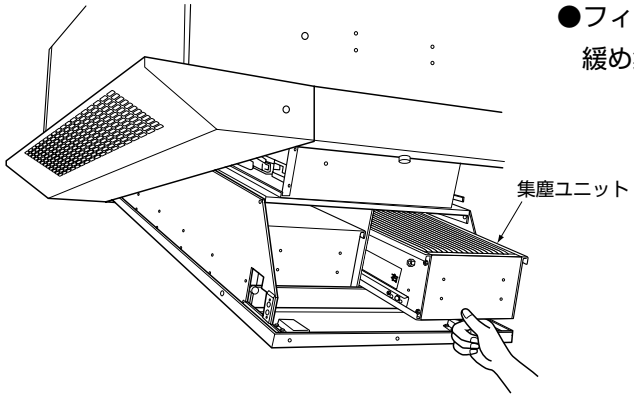
1



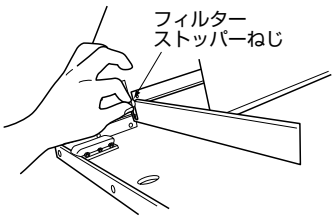
●メンテナンスドアを開ける。
押しボタンロックを回し2つの押しボタンロックを両手で押し上げ、手を添えたままゆっくりと下ろしてください。



2

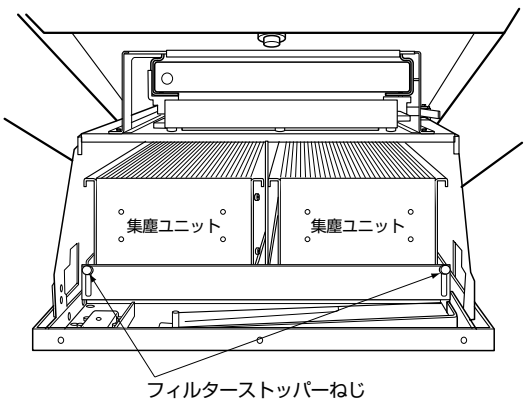


●フィルターストッパー固定ねじ（2ヵ所）を緩め集塵ユニットを挿入します。



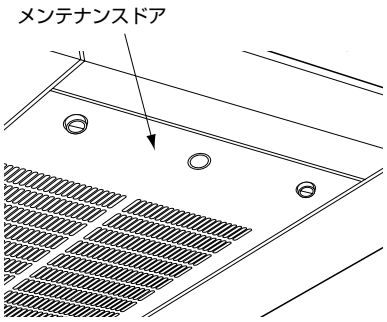
❺ 集塵ユニットの脱着方法（つづき）

3



●フィルターストッパーねじを締めキッチリと固定してください。
●集塵ユニットがしっかり入っているか確認してください。

4



●メンテナンスドアを押し上げ、押しボタンロックを確実に閉める。

6 プレフィルターの脱着方法

■プレフィルターは製品搬入時にはあらかじめ取り付けられています。

⚠警告

メンテナンスドアを開けるときは、必ず開口部の正面で作業する

メンテナンスドアを下ろすときは必ず手を添えて下ろす

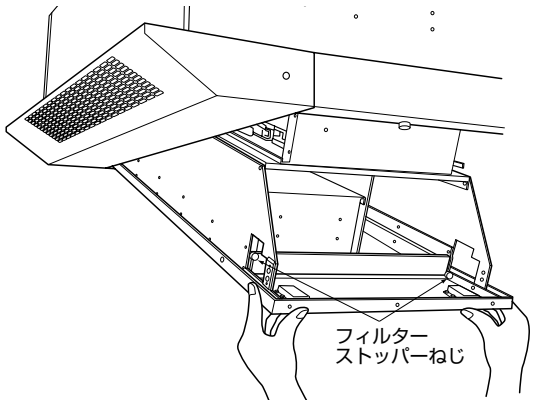
ドアが急に下降し怪我をする恐れがあります。

⚠注意

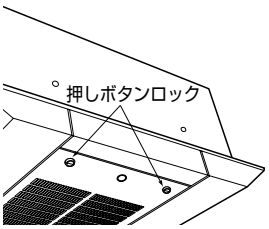
メンテナンスドアが開いていると製品安全上電源が入りません。

取り出しかた

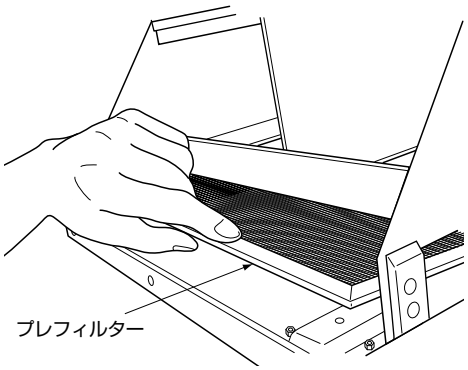
1



●メンテナンスドアを開ける。
押しボタンロックを回し2つの押しボタンロックを両手で押し上げ、手を添えたままゆっくりと下ろしてください。



2



●フィルターストッパーねじを緩め、フィルターストッパーを押し上げプレフィルターを取り出します。

7 脱臭ユニットの脱着方法

■脱臭ユニットは商品搬入時には別梱包されています。

⚠警告

メンテナンスドアを開けるときは、必ず開口部の正面で作業する

メンテナンスドアを下ろすときは必ず手を添えて下ろす

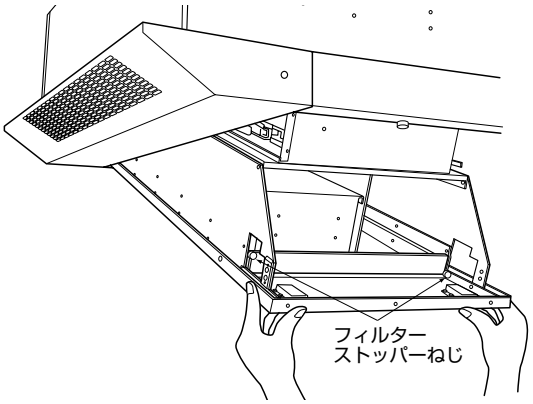
ドアが急に下降し怪我をする恐れがあります。

⚠注意

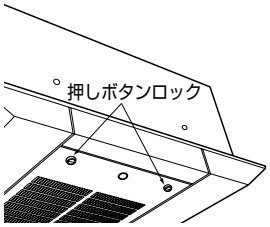
メンテナンスドアが開いていると製品安全上電源が入りません。

取り付けかた

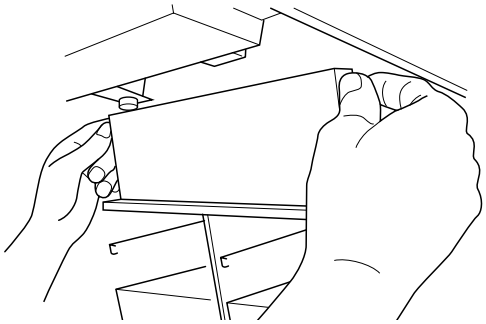
1



●メンテナンスドアを開ける。
押しボタンロックを回し2つの押しボタンロックを両手で押し上げ、手を添えたままゆっくりと下ろしてください。

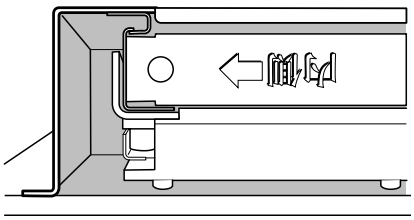


2



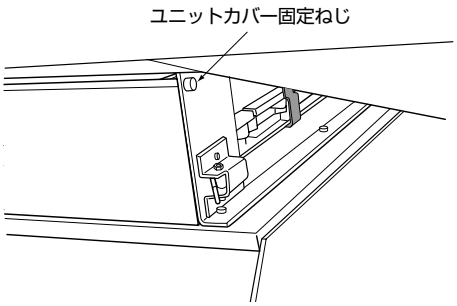
●ユニットカバー固定ねじ（3ヵ所）を回しユニットカバーを取り外します。

3



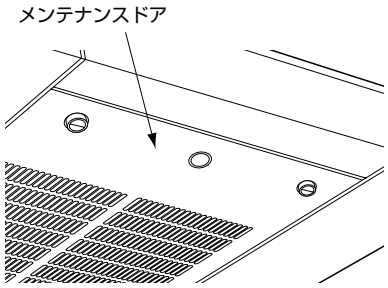
●脱臭ユニット側面の「内側」の表示を矢印の方向（左側）に向けて「カチッ」と音がするまで押し入れてください。

4



●ユニットカバーをはめ、ユニットカバーねじでしっかりと固定してください。

5



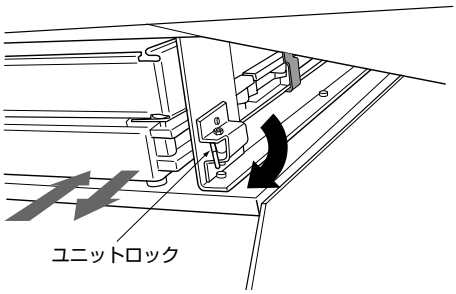
●メンテナンスドアを押し上げ、押しボタンロックを確実に閉める。

取り外しかた

1

●メンテナンスドアを開けます。
押しボタンロックを回し2つの押しボタンロックを両手で押し上げながら、ゆっくりと手を添えそのまま下ろしてください。
●ユニットカバーねじを回しユニットカバーを取り外します。

2



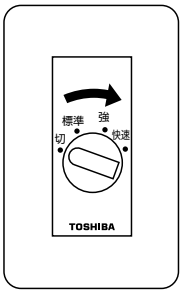
●ユニットロックのレバーでロックを解除してから、脱臭ユニットを一度奥へ軽く押し込んだ後に引き出します。

8 工事完了後の確認（試運転）

■取付工事が完了しましたら必ず試運転を行ってください。

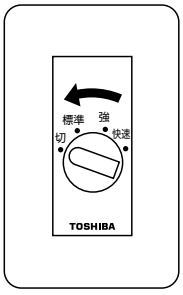
1

❶



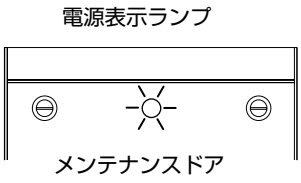
●風量コントローラーつまみを回し、「標準」、「強」、「快速」を選びます。

❷



●確認後、風量コントローラーつまみを「切」にします。

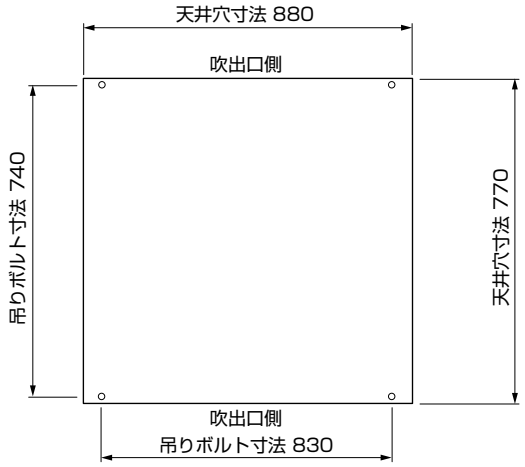
2

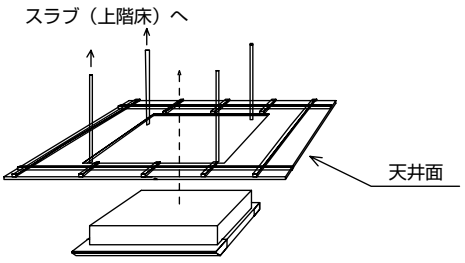


●風量コントローラーつまみをひねり稼働させたときに、本体電源表示ランプが点灯していることを確認してください。

※試運転で異常が生じた場合は、誤結線と考えられます。感電の原因になることがありますので、直ちに専用ブレーカーを「OFF」にしてから正しく結線し直してください。

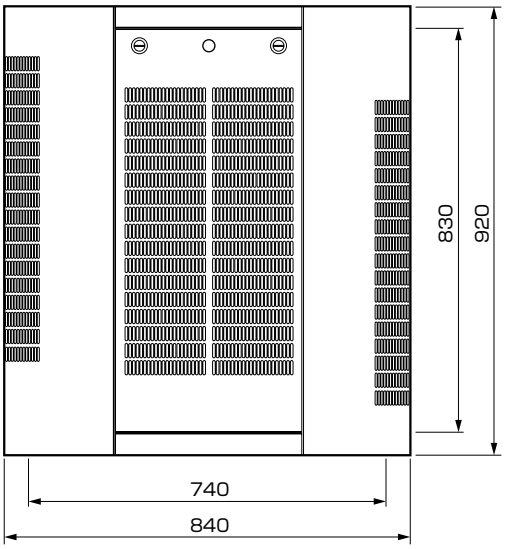
開口寸法（単位：mm）

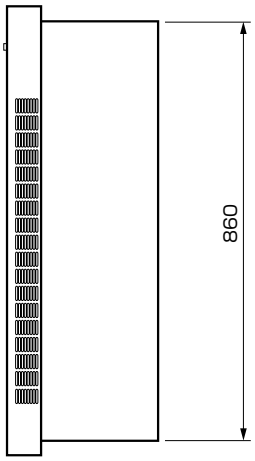


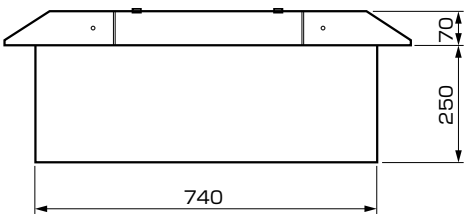


開梱すると天井開口寸法の型紙が入っています。この型紙を参考に天井開口を行ってください。

外形寸法（単位：mm）







株式会社 東芝 家電機器社　〒105-8001　東京都港区芝浦 1-1-1 （東芝ビルディング）